



## 2024年度から新たな基本方針、研修分類に基づき研修を提供します

日本看護協会では、看護職の生涯にわたる学習活動を支えるために、看護職一人ひとりの生涯学習の羅針盤となる「看護職の生涯学習ガイドライン」を策定しました。その考え方にに基づき、新たな基本方針、研修分類を定め、看護職個々への「生涯学習」の機会として研修を提供するとともに、看護職を雇用する施設への研修提供や都道府県看護協会と連携した研修等を提供します。



リニューアル

### 基本方針

公益社団法人日本看護協会(以下、本会という)は、看護の質の向上、安心して働き続けられる環境づくりの推進、人々のニーズに応える看護領域の開発・発展を図ることにより、人々の健康で幸福な生活の実現に貢献することを使命としている。この目的に向け、定款第4条の7事業の一番目に「教育等看護の質の向上に関する事業」を挙げている。

看護職が活躍する領域や場は多様化し、看護職の役割発揮に対する社会からの期待は高まっている。

看護職が人々の期待に応え役割を発揮するためには、主体的に継続的な学習に取り組み、能力の開発・維持・向上を図り続ける生涯学習が重要になる。

そこで本会では、生涯学習の羅針盤となる「看護職の生涯学習ガイドライン」を策定するとともに、生涯学習の支援として看護職個人への学習機会の提供と各施設向けの研修提供を行う。また、研修の企画実施にあたっては、都道府県看護協会と常に連携・協働して実施する。

具体的には、看護職個人への学習機会の提供として、①専門職としての活動の基盤となる研修、②看護・医療政策に関する研修、③人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修、④看護管理者を対象とした研修、⑤資格認定教育を行う。また、各施設向けの研修提供として、施設内教育の際に活用できる研修教材の制作・提供を行い、看護職の生涯学習を支援する。

リニューアル

### 研修分類

生涯学習の学習機会のひとつである研修は、外部の様々な機関や団体、企業が提供していますが、個々の看護職は、自分に必要な研修を主体的に選択して、継続的な学習に取り組むことが必要です。

そこで、日本看護協会では、新たな基本方針に基づき、看護職に必要な内容を網羅的に提供するのではなく、以下の5つの分類に沿って提供します。

- 分類 1 専門職としての活動の基盤となる研修**  
活動の場等を問わず、全ての看護職の活動において、基盤となる研修を提供します
- 分類 2 看護・医療政策に関する研修**  
最新の情報も踏まえた看護・医療政策に関する研修は、日本看護協会ならではの研修です
- 分類 3 人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修**  
看護職の主体的な学びを支援する教育支援者におススメの研修です

- 分類 4 看護管理者を対象とした研修**  
看護管理者向けの研修は、構成を大幅に見直し拡充しました
- 分類 5 資格認定教育**  
認定看護師(6分野)、認定看護管理者(サードレベル)の教育を実施しています



### 4つの提供方法

提供方法	オンデマンド研修(OD)	リアルタイム研修(RT)	組合せ研修(RT+OD)	オンデマンド研修+都道府県看護協会での演習
受講スタイル	事前に収録した講義をインターネットを介して自分のペースで受講する	開催日にインターネットを介してリアルタイムで受講する	リアルタイムとオンデマンドを組合せた研修を受講する	オンデマンド研修を受講し、都道府県看護協会での演習を行う
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習スタイルに合わせ、分割・中断・繰り返しなど、自分のペースで学習できる</li> <li>個人での受講はもちろん、施設内の研修に教材として活用できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネット環境が整っている自宅や所属施設から受講できる</li> <li>講義を受講することに加え、講師、受講者とのディスカッションやグループ演習が可能で、情報交換やネットワークづくりができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リアルタイム研修とオンデマンド研修の良いとこ取り!</li> <li>オンデマンド研修は、リアルタイム研修受講後も、配信期間中なら繰り返し受講でき、自分のペースで復習ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人での学びに加え、演習では受講者間でディスカッション等を行い、実践での取り組みに活かせる</li> <li>オンデマンド研修は、演習終了後も配信期間中なら繰り返し受講できる</li> </ul>

### 受講料 (税込)

提供方法	研修時間	会員	一般	研修	提供方法	研修時間	会員	一般		
オンデマンド研修(OD)	個人	60分	1,500円	2,500円	医療安全管理者養成研修	OD+演習	40時間	30,800円	46,200円	
			施設用教材	1,500円	2,500円			災害支援ナース養成研修	OD+演習	30時間
	個人	90分	2,000円	3,000円	JNA収録DVD研修 「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」	都道府県看護協会 で実施	2日間 (12時間)	6,270円	9,460円	
			施設用教材	2,000円				3,000円	看護補助者を 対象とした 標準研修	OD (演習ガイド含む)
	個人	180分	4,000円	6,000円	2	6時間	4,400円	8,800円		
	施設用教材		4,000円	6,000円	3	4時間	3,300円	6,600円		
リアルタイム研修(RT)	3時間		4,000円	6,000円	4-1	2.5時間	2,200円	4,400円		
1日	8,800円		13,200円	4-2						
2日	11,000円	16,500円	4-3							
3日	13,200円	19,800円	4-4							
組合せ研修(RT+OD)	RT(3時間) OD(90分)	6,000円	9,000円	4-5						
	RT(3時間) OD(180分)	8,800円	13,200円							

# 研修一覧

生涯学習の計画を立てる時には、まず看護職として活躍するためにどのような資質・能力が求められているかを確認し、自身がどのような内容を学ぶ必要があるか考えることが重要です。そのため研修一覧では、看護職に求められる能力のうち、看護師および助産師は、求められる能力を「看護実践能力」「助産実践能力」を用いて研修を示しています。また、専門職として定期的な知識のアップデートが必要な基盤となる研修も示しました。さらに看護管理者とその候補者には、病院看護管理者のマネジメントラダーで示される6つの能力の定義を用いて研修を示しています。

■自身の習熟段階に応じた研修を選択する際にご確認ください。

- 看護実践能力：「看護師のまなびサポートブック」掲載
- 助産実践能力：「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)活用ガイド 2022」掲載
- 病院看護管理者の能力：「病院看護管理者のマネジメントラダー 日本看護協会版」掲載

※今後、看護・医療政策の動向等を踏まえ、新たな研修を企画・実施する場合があります。最新情報については、随時「研修ポータルサイト」をご確認ください。

- OD=オンデマンド研修/RT=リアルタイム研修 ●C=「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)」(CLoCMiP)/M=病院看護管理者のマネジメントラダー 日本看護協会版
- ※対象・レベル内のC/M以外のレベルは、看護実践能力習熟段階を指します。
- 対象レベルは、研修制作上の目安として設定しているものです。受講者を限定するものではありません。
- 診：診療報酬に関する研修
- オンデマンド研修配信初日の受付開始・申込終了時刻および配信最終日の終了時刻も13時となります。
- ★講義の一部を無料で視聴できる期間(4月15日～1月15日)を設けました。



研修分類	研修番号	看護実践能力/ 助産実践能力	研修名	対象・ レベル	提供 方法	時間数	配信期間/ 開催日 (申込期間)	主な内容		
分類1	101	法的な実践能力 専門的・倫理的実践能力	日常生活場面で理解する看護職の倫理綱領と看護業務基準 2021改訂版	新人～II	OD	90分	★4月22日～2月28日 (4月22日～1月15日)	看護職が社会的責務を果たすうえで切りどころとなる倫理綱領等を学びます。		
	102		生命危機の場面における倫理実践	II		90分		様々な生命危機の場面に立ち会う看護職が、専門職として倫理的判断に基づく対応ができるために必要な知識を学びます。		
	103		看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェア	新人～IV		90分		「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアに関するガイドライン及び活用ガイド」に基づく研修です。タスク・シフト/シェアを進めるために必要な知識を学びます。		
	104	臨床実践能力 ケアする力	標準的な看護計画に基づくフィジカルアセスメント	I		90分		ケアの受け手のニーズをとらえるために必要な標準的な看護計画に基づくフィジカルアセスメントを学びます。		
	105		ケアの受け手の状況に応じたフィジカルアセスメント	II		90分		よくある臨床場面において、対象者の変化をとらえ、優先度の高いニーズを判断するためのフィジカルアセスメントを学びます。		
	106		ケアの受け手の全体像把握のためのアセスメントの統合	II		90分		ケアの受け手の全体像を把握するために必要なアセスメントの統合方法を学びます。		
	107		介護保険施設で生活する高齢者の支援に必要な知識とケア	II		90分		介護保険施設で働く看護職が、医療機関との違いや高齢者の特徴を踏まえたケアについて学べる内容です。		
	108	協働する力	外来における在宅療養支援能力向上のための研修	II		①OD+各施設演習 ②OD+都道府県看護協会演習		200分	★①4月22日～2月28日 (4月22日～1月15日) ②5月～2月(予定)	外来看護を取り巻く現状と課題を知り、自施設の外来が果たすべき役割と自らが外来で担うべき役割を理解し、在宅療養支援に必要な知識を習得できます。 ①各施設で、オンデマンド受講と演習を行う ②施設での実施が困難な場合など、都道府県看護協会主催のオンデマンド受講と演習による研修を受講する ※申込み①は施設代表者が日本看護協会オンデマンド研修システムへ ②は都道府県看護協会へ
	201		高齢者の“いつもと違う”を看護に活かす -夜、眠れない高齢者-	IV		3時間		6月25日 (4月10日～4月25日)	高齢者シリーズ3研修では、事例をもとに受講者自身によるアセスメントと講師による解説を通して、学びを深める研修です。高齢者の“いつもと違う”様子から“今、何が起きているのか”、“今ある情報から、より確かな判断に必要な情報は何か”、“より確かな判断に必要な情報をどのように得るのか”等をクイズ形式で回答しながら徐々に紐解いていきます。クイズの回答結果は、受講者全員と匿名で共有し、回答結果の傾向を加味して、講師が解説を行います。	
	202		高齢者の“いつもと違う”を看護に活かす -胸が痛いと訴える高齢者-	IV		3時間		7月30日 (5月8日～5月23日)	7月10日 (7月10日～7月25日)	
	203	高齢者の“いつもと違う”を看護に活かす -腹痛を訴える高齢者-	IV	3時間						
	109	支える力	地域で暮らす高齢者を支える看護職連携の実践	II～III		OD		90分	★4月22日～2月28日 (4月22日～1月15日)	地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築が進むなか、どのような看護職連携が必要か、事例をもとに考えましょう。
	110		複合的な問題を抱えながら地域で暮らす高齢者を支える看護職・多職種連携	III～IV				90分	複合的な問題を抱え地域で暮らす高齢者に対し、質の高いケアを提供するために互いの専門性を尊重した多職種連携を学びます。	
	111	リーダーシップとマネジメント能力	業務の委譲/移譲と管理監督	新人～IV		OD		90分	7月より順次 ～2月28日 (7月以降～1月15日)	看護チームの中で看護師が果たす役割と責任、安全で質の高い看護の提供に向け、看護師・准看護師・看護補助者の業務のあり方を学びます。
112	看護補助者との協働推進のための研修 <看護補助体制充実加算対応>		II	180分	★4月22日～2月28日 (4月22日～1月15日)		医療機関の看護職が専門性の発揮を目指し、看護補助者との安全な協働のために必ず知っておくべき内容です。 ※厚生労働省の補助金により作成したプログラムです。			
113	医療安全の制度・施策の動向と法的基礎知識 ※2024年度「医療安全管理者養成研修」1章の一部を用いています		新人～II	180分	7月より順次 ～2月28日 (7月以降～1月15日)		提供される医療のほぼ全てに関与する看護職が安全に実践を行うために、働く場所や習熟段階等に関わらず、定期的な知識のアップデートが必要な研修です。			
114	感染予防・対策の基本		新人～II	60分	7月より順次 ～2月28日 (7月以降～1月15日)		感染拡大・職業感染を防止し、安全な医療およびケアを提供するために、働く場所や習熟段階等に関わらず、定期的な知識のアップデートが必要な研修です。			
115	看護の専門性の強化と社会貢献		II	90分	★4月22日～2月28日 (4月22日～1月15日)		専門職としての社会的責務とは何か、制度や政策に影響を与える看護職の関わりについて重要性を学びます。院内研修での活用もおすすめです。			
116	助産実践能力	マタニティケア能力 診断とケア 妊娠/分娩期/産褥期/新生児期の	妊娠期/分娩期/産褥期/新生児期の 臨床推論につなげるための フィジカルアセスメント 脳神経編	C-II	OD	90分	7月より順次 ～2月28日 (7月以降～1月15日)	2022年以降アドバンス助産師 [新規][更新]申請要件[必須研修]に該当		
117			臨床推論につなげるための フィジカルアセスメント 呼吸・循環編	C-II		90分				
118			臨床薬理(妊娠と薬)	C-II		90分				
119			臨床病態生理	C-II		90分				
120			妊娠と糖尿病	C-II		90分				
121			院内助産における産婦主体の助産ケア提供 ～フリースタイル分娩の介助	C-III		90分	4月22日～2月28日 (4月22日～1月15日)		2022年以降アドバンス助産師 [更新]申請要件[選択研修]に該当	
122			助産実践能力習熟段階(CLoCMiP)と助産師の活躍	C-III		90分	2022年以降アドバンス助産師 [新規][更新]申請要件[必須研修]に該当			
123	周産期における医療安全と助産記録	C-II	90分							
124	「院内助産・助産師外来ガイドライン2018」の活用のおすすめ	C-III	90分	2022年以降アドバンス助産師 [更新]申請要件[選択研修]に該当						

※「CLoCMiP」は助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)である、Clinical Ladder of Competencies for Midwifery Practiceの頭文字から表記しており、公益社団法人日本看護協会の登録商標です。

研修分類	研修番号	研修名	対象・レベル	提供方法	時間数	配信期間／開催日(申込期間)	主な内容	
分類1	125	困難事例を支援する事例検討会を学ぶ～個別課題から地域課題への検討・解決につながる事例検討の視点・ポイント～	保健師	OD	90分	★4月22日～2月28日(4月22日～1月15日)	複雑かつ多重課題を、個別課題から地域課題につながる有効な事例検討を学び、対象に合った実践に活かします。	
	126	ポピュレーションアプローチに取り組むメリット・デメリットと保健師の役割～保健師活動の効果的な実践・展開を目指して～			90分	7月より順次～2月28日(7月以降～1月15日)	集団全体に働きかける健康増進の取り組みとして有効とされるポピュレーションアプローチ。実践例をもとに、自身で展開できるようにしましょう。	
	127	①看護に生かす褥瘡予防の基本 ②誤嚥性肺炎を予防する口腔ケアの基本	准看護師		90分	★4月22日～2月28日(4月22日～1月15日)	施設等で高齢者に生じやすい褥瘡や誤嚥などに対し、安全・安楽な看護を提供するために必要な知識と技術を学び、日々の実践に活かします。 ※研修番号128は、新興感染症に関する内容も含まれます。	
	128	①感染予防の基本2023 ②誤嚥を予防する食事介助の基本			90分	★4月22日～2月28日(4月22日～1月15日)		
分類2	129	災害支援ナース養成研修(厚生労働省委託事業)	II	OD+都道府県看護協会演習	30時間	5月～2月(予定)	災害・感染症等に関する基礎知識・技術の習得と派遣の概要を理解し、実際の派遣時に対応できる技能を習得します。 ※申込みは、施設単位で都道府県看護協会へ。申込者は、各医療機関の看護管理者、もしくは医療機関以外は部門長等を代表者とします。	
	130	災害支援ナース養成研修企画・指導者研修(厚生労働省委託事業)	III	OD+日本看護協会演習	10時間or6.5時間	年度内1回	災害支援ナース養成研修の集合研修を的確に企画・指導するために必要となる知識や技能を習得します。 ※申込みは、個別では行っておりません。	
	131	医療安全管理者養成研修<医療安全対策加算対応>	診	III	OD+都道府県看護協会演習	40時間	7月～2月(5月8日～5月17日)	所属施設および地域で医療安全管理業務を実践できるよう、安全管理業務を遂行するために必要な知識と技術を学びます。 ※申込みは、個人単位で日本看護協会へ。オンデマンド研修受講後に、都道府県看護協会にて集合研修(演習)を行います。
	204	臓器移植における基礎知識と看護実践<移植後患者指導管理料対応>	診	—	RT	3日間	6月18・19・20日(4月10日～4月25日)	臓器移植医療に携わる初学者を対象とした研修です。移植医療における看護師や移植コーディネーターの役割を講義・演習を通して学ぶことができます。
	205	小児在宅移行支援指導者育成研修<入退院支援加算3対応>	診	—	RT	2日間(12時間)	9月5・6日(4月10日～4月25日)	医療的ケア児と家族の在宅移行を支援したい方に受講していただきたい研修です。応募要件と医療的ケア児の同行訪問等、事前課題があります。
	—	JNA収録DVD研修「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」<認知症ケア加算2,3対応>	診	—	講義+演習(都道府県看護協会で開催)	2日間(12時間)	6月～12月	認知症ケア加算2および3の施設基準における「認知症患者のアセスメントや看護方法等に係る適切な研修」に該当する研修で、認知症高齢者の看護実践に必要な基本的知識を学ぶことができます。 ※開催日および申込みについては、受講を希望する都道府県看護協会にご確認ください。
分類3	132	組織で行う生涯学習支援の基礎知識	III	OD	120分	7月より順次～2月28日(7月以降～1月15日)	生涯学習支援の考え方を知り、個々の看護職への主体的学習、キャリア形成への支援を理解し、施設における人材育成と支援の実践を学べます。	
	206	研修での学びと実践をつなぐ指導者のための研修	M-I	RT	1日	7月10日(4月10日～4月25日)	研修での学びが実践に活用されるプロセスを踏まえて、スタッフの実践能力や目標にあわせた支援・動機付けを演習を通して省察します。	
分類4	133	労務管理入門～働きやすい職場環境づくりの基礎知識～	M-I~II	OD	90分	★4月22日～2月28日(4月22日～1月15日)	働き方改革等国の最新動向を踏まえた労働関係法令と基礎知識を学びます。現場で生じやすい疑問にも答えられます。	
	134	看護職の多様な働き方とやりがいを支える評価・処遇	M-II		90分	7月より順次～2月28日(7月以降～1月15日)	看護職の働き方が多様化する中において、やりがいを支える評価・処遇に関して、管理者が押さえるべきポイントを学びます。	
	207	主任のための組織管理入門-自部署の問題を組織管理の視点で考える-(1回目開催)	M-I	RT	1日	6月12日(4月10日～4月25日)	グループでの事例検討を通して、部署で生じた問題を組織管理の視点で考え、方針の実現にむけた主任の看護管理実践を検討します。	
	208	主任のための組織管理入門-自部署の問題を組織管理の視点で考える-(2回目開催)	M-I		1日	11月1日(8月8日～8月22日)		
	209	師長のための組織管理の基礎-スタッフが共感する自部署の方針の策定と浸透-	M-II		1日	10月2日(7月10日～7月25日)	グループでの事例検討を通して、自部署の方針を策定し、自部署全体に浸透させる師長の看護管理実践を検討します。	
	210	不妊治療と仕事の両立を支援する看護管理者の役割	M-I~IV		1日	7月3日(4月10日～4月25日)	不妊治療を受けながら働き続けられる組織体制整備について学び、自施設における課題の抽出および支援体制のあり方をグループでディスカッションします。	
	211	プラチナナースの活躍を促進する看護管理者の役割	M-I~IV	1日	7月17日(5月8日～5月23日)	プラチナナースの活躍を促進する施設等の制度・体制のあり方や好事例を踏まえて、自施設の課題の抽出及び解決策をグループで検討します。		
	212	産科病棟におけるタスクシフトシェアと院内助産の導入	M-I~IV	RT+OD 組合せ研修	RT 3時間 OD 90分	8月8日～9月25日/9月11日(5月8日～5月23日)	安全で安心な出産環境整備に資する院内助産導入について、所属施設の問題・課題に即した具体的方策を立案することを目指します。	
	213	看護チームの力を最大限発揮する看護管理者の役割-看護師と准看護師の協働を目指して-	M-I~IV	RT+OD 組合せ研修	RT 3時間 OD 90分	10月22日～12月6日/11月22日(8月8日～8月22日)	看護チームの力を最大限発揮するために、看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関する基本的な考え方および自施設における方策をグループで検討します。	
	—	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修【都道府県看護協会主催研修】<看護補助体制充実加算対応>	診	M-I~II	OD+都道府県看護協会演習	5時間	4月～2025年1月	法令やガイドラインに沿い、看護管理者に求められる安全で効率的な業務実施体制の整備について学びます。(オンデマンド講義は日本看護協会が制作) ※開催日および申込みについては、受講を希望する都道府県看護協会にご確認ください。
214	看護管理者に必要な災害時におけるマネジメント	M-I~IV	RT+OD 組合せ研修	RT 3時間 OD 180分	9月30日～12月13日/11月29日(7月10日～7月25日)	オンデマンド視聴で災害時の医療提供体制や国の防災計画についての理解を深め、組織(自部署)の課題を明確にしていきます。リアルタイム研修では、その課題解決に向けた方策をグループで検討します。		
215	看護師長のレジリエンス強化-環境変化への即応力と柔軟性-	M-II	RT	1日	9月26日(7月10日～7月25日)	目まぐるしく変化する医療環境に対応しなければならない看護師長としてレジリエンスの考え方を踏まえ、ご自身とチームのレジリエンスを高める方法をグループでディスカッションします。		
分類5	—	認定看護師教育課程 看護研修学校 学科名/神戸研修センター 課程名 ( )内は募集人数	研修場所					
	—	クリティカルケア(30) 皮膚・排泄ケア(30) 感染管理(30) 糖尿病看護(30) 認知症看護(30)	看護研修学校		※詳細は本会HPの募集要項でご確認ください。			
—	がん薬物療法看護(30) 感染管理(30)	神戸研修センター		【本会HP】 <a href="https://www.nurse.or.jp/">https://www.nurse.or.jp/</a> ▶生涯学習支援▶認定看護師教育				
—	認定看護管理者教育課程 研修名 ( )内は定員	研修場所						
—	認定看護管理者教育課程サードレベル(30)	神戸研修センター		【本会HP】 <a href="https://www.nurse.or.jp/">https://www.nurse.or.jp/</a> ▶研修ポータルサイト▶研修の検索				

研修分類に基づく研修以外の研修

**特定行為研修**  
認定看護師や在宅領域に従事する看護師に対し、研修を実施しております。詳細は本会HPをご確認ください。

**看護補助者を対象とした標準研修<急性期看護補助体制加算等>** 診  
看護補助者が医療機関で働くうえで必要な知識と技術の習得に役立つ研修です。看護管理者の方は、ぜひ各施設での体制整備に活用ください。  
●モジュール1,2,3,4-1～4-5の8つに分かれており、モジュール1は担当業務に関わらず看護補助者として必須となる内容を網羅した「必須研修」です。モジュール2以降は、各施設の状況に応じて選択可能です。詳しくは本会HPをご確認ください。

**個人情報の取り扱いについて**

本会の個人情報保護方針および規定に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。詳細は、本会公式ホームページ参照



看護職としての役割発揮に欠かせない **生涯学習**

看護職が役割を発揮するためには、変化する社会やニーズに合わせて新たな知識や技術を学びなおすなど、継続的な学習に取り組み、能力の開発・維持・向上を図り続けることが重要です。

生涯学習ガイドラインでは、生涯学習は看護職が「主体的に行うこと」、「生涯にわたり行うこと」、「学んだことを実践に活かし、実践から学ぶという循環によって行うこと」、「看護職の責務として行うこと」などを基本的考え方として示しています。日本看護協会が実施する研修は、この考え方に基づき企画・提供しています。

看護職として活躍している組織や領域を問わず、また一時的に仕事から離れている間も、看護・医療に関する最新の知識や情報を得ることが重要であり、その学びが安全な看護提供や自身のキャリア形成に繋がります。

看護職の主体的な学びを支援する **生涯学習支援**

看護職を雇用している医療機関や施設等の組織には、看護職の生涯学習を支援する責任があります。

この生涯学習支援は、「成人学習」の考え方に基づく支援であり、個人の主体性を尊重し行うことが大切です。具体的な支援では、それぞれの看護職の生涯学習のプロセスへの支援の他、日々の看護実践からの学びの支援、多様な学習機会の紹介・調整などがあります。

また、組織の求める人材像に即した人材育成は組織の責任で行う必要があります。本会では、施設内研修で「教材」として活用いただける研修の提供や、生涯学習支援に関する組織の体制づくりを推進する管理者向け、人材育成に直接携わる教育支援者向けの研修も提供します。

## ここがオススメ！ 日本看護協会が提供する研修の特徴

## すべての看護職が安全に看護を提供するために必要な研修

- 専門職としての活動の基盤となる**医療安全、感染管理、看護職としての職業倫理**は、活動する領域や職種を問わず、また習熟段階に関わらず知識や技術の定期的な更新が重要です。離職・休職中の看護職にも受講をおすすめします。

## 学びを実践に活かし、実践から学ぶ循環を促進する研修

- 個々の看護職が積み重ねてきた実践での学びと、研修での学びを結び付けることができるよう、講義にワークや演習を組合せた構成で提供しています。
- オンデマンド研修とリアルタイム研修の組合せでは、講義での学びに加え、他受講者とディスカッションを行うことで省察が進み、次の実践へと繋がっていきます。

## 施設内研修で「教材」として活用する研修

- オンデマンド研修の「施設用教材」では、施設内研修の目的に合わせ、視聴順や視聴箇所を選択するなど、自由度高く活用できます。
- 「施設用教材」を活用することで、これまで施設内の研修企画から講師調整、スライド作成に費やしてきた時間を、実践の場での支援に使えます。

## 診療報酬に係る5研修

## 研修番号112 《看護補助体制充実加算》

「看護補助者との協働推進のための研修」

## 研修番号204 《移植後患者指導管理料》

「臓器移植における基礎知識と看護実践」

## 研修番号205 《入退院支援加算3》

「小児在宅移行支援指導者育成研修」

## 研修番号131 《医療安全対策加算》

「医療安全管理者養成研修」

## 《認知症ケア加算2・3》

JNA収録DVD研修

「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」

## 受講に必要な学習環境

 または 		 または 	リアルタイム研修では必須	
				
学習に集中できる場所	通信容量無制限等インターネット回線	パソコン等、メーカーがサポートしているOSの搭載を推奨(リアルタイム研修では、受講者1名につき1台のPCを準備)	マイクは、パソコン内蔵または外付けマイク	カメラは、パソコン内蔵または外付けカメラ

オンデマンド研修 **オススメ**

## 介護保険施設で働く看護職必見！

## 研修番号107 「介護保険施設で生活する高齢者の支援に必要な知識とケア」

- 医療機関との違いや、多職種協働における看護の役割について学びます
- 初めて施設で働く方にもおすすめです

## 施設で教育支援に携わる方必見！

## 研修番号132 「組織で行う生涯学習支援の基礎知識」

- 看護職個人の主体的な学びやキャリア形成への支援と組織における人材育成について学びます

リアルタイム研修 **NEW!**

## 看護管理者必見！

## 研修番号209 師長のための組織管理の基礎

—スタッフが共感する自部署の方針の策定と浸透—

## 研修番号211 プラチナナースの活躍を促進する看護管理者の役割

## 介護施設、訪問看護ステーション、クリニック、病院等で高齢者ケアに関わる看護職必見！

高齢者シリーズを新たに1研修追加！事例をもとに受講者自身によるアセスメントと講師による解説を通して、学びを深める研修です。

## 研修番号203 高齢者の“いつもと違う”を看護に活かす

—腹痛を訴える高齢者—

## オンデマンド研修＋都道府県看護協会での演習

## 外来で働く看護職必見！

## 研修番号108 「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」

- 外来看護に期待される在宅療養支援の強化を目指す研修です
- 講義と演習の組合せで、学びが深まり実践力の強化に繋がります

オンデマンド研修 (200分) + 演習 (150分)

## 【2種類の受講方法】

- 院内研修として実施演習を支援する手引きも充実！
- 都道府県看護協会を受講詳細は都道府県看護協会に確認を！

リアルタイムとオンデマンドの組合せ研修 **NEW!**

## 看護管理者必見！

## 研修番号212 産科病棟におけるタスクシフトシェアと院内助産の導入

## 研修番号213 看護チームの力を最大限発揮する看護管理者の役割

—看護師と准看護師の協働を目指して—

## 研修番号214 看護管理者に必要な災害時におけるマネジメント

オンデマンド研修 (90分または180分) + リアルタイム講義・演習 (3時間)

上記3研修は、リアルタイム研修受講までにオンデマンドによる繰り返しの学びと、自身・組織の課題や取組みについて再考することができます。リアルタイム研修では、実践報告や受講者間の情報共有、意見交換などができ、全国の看護職とのネットワークづくりにも役立てることができます。

## 研修の詳細

日本看護協会公式ホームページ ▶ 学ぶ ▶ 研修・教育 ▶ 研修ポータルサイト ▶ 研修の検索



## キャリアナース

受講した研修が自動的に保存され、自分の受講履歴が管理できます！

～研修受講の軌跡を振り返り、これからの看護にお役立てください～

他にもキャリアナースに登録すると…

- 全国の都道府県看護協会や日本看護協会が実施する研修情報の検索ができる
- 「最新看護索引WEB」を使った看護関連領域の文献検索ができる

日本看護協会会員の皆さま  
専用のWEBページです

<https://kaiin.nurse.or.jp/members/JNG000101>

